

## 高齢者の飲み込みと誤嚥

近年、高齢者の肺炎は増加しております。水分や食べ物が気管、肺に入る“誤嚥”が要因の一つとして大きく影響しています。また餅などをのどに詰まらせる窒息事故も後を絶ちません。今回高齢者の飲み込み(嚥下)と誤嚥についてわかりやすくお話しします。

**日時** 2018年**11月25日(日)** **参加無料**

午前**10時～12時**(受付午前9時半～)

**場所** 神奈川県総合医療会館7階講堂 中区富士見町3-1

市営地下鉄「伊勢佐木長者町」駅4B出口 徒歩 約3分

**定員** 200名 どなたでも参加できます

①のど仏を鍛えて、誤嚥性肺炎を減らしたい ～ムセにはご注意ください～  
西山耳鼻咽喉科医院 西山 耕一郎先生

②口から食べ続けるために ～今からできるフレイル予防～  
ナガタ歯科 吉田 直人先生

③嚥下障害のリハビリテーションと介護予防  
横須賀共済病院言語聴覚士 金井 枝美先生

④ちょっとした嚥活のコツを教えます  
横浜脳卒中脊椎センター看護部 山本 奈緒美先生  
JMA海老名訪問看護ステーション 上野 美和先生

⑤嚥下障害と栄養の問題、嚥下食ってどんなもの  
クロスハート野七里 濱本 暁子先生  
衣笠病院栄養科 木村 麻美子先生  
ホームケアクリニック横浜港南 森田 ちかこ先生

⑥質問、相談コーナー

<問合せ先・申し込み先> 南区在宅医療相談室 FAX:045-315-7154

主催：横浜嚥下障害症例検討会

後援：横浜市南区医師会 横浜市南区歯科医師会 横浜市南区薬剤師会

横浜市南区高齢・障害支援課 南区在宅医療相談室 横浜市耳鼻咽喉科医会

注)裏面の申込用紙に必要な事項をご記入の上 FAXにてお申込みください。定員を超えた場合はお断りすることがございます。その際にご連絡を申し上げます。連絡が無い場合は当日直接ご参加ください。



FAX:045-315-7154 南区在宅医療相談室

参加者氏名	連絡先	ご職業

